

Course number		G-LAS00 80006 SJ44			
Course title (and course title in English)	アントレプレナーシップ演習 Entrepreneurship Exercises		Instructor's name, job title, and department of affiliation	Office of Society-Academia Collaboration for Innovation Program-Specific Professor, KITANI TETSUO	
Group	Common Graduate Courses		Field(Classification)	Social Responsibility and Profitability	
Language of instruction	Japanese		Old group		Number of credits 2
Hours	30	Class style	Seminar (Face-to-face course)		2024・Intensive, Second semester
Days and periods	Intensive	Target year	Graduate students	Eligible students	For all majors
[Overview and purpose of the course]					
<p>専門分野についての高度な知識を持つ大学院生にとって、企業という形態を通じた社会における研究成果の活用の方法や、独自の研究テーマをさらに深めるための多様な資源獲得の手法について、幅広い理解が欠かせない時代となっている。特に欧米においては研究者が事業化を目指すことで、幅広い投資家から研究資金を調達することが一般化しており、自分の志す研究を深めるために、アントレプレナーシップの果たす役割は大きくなっている。</p> <p>アントレプレナーシップの定義は “ The pursuit of opportunity beyond the resources you currently control ” （ 現在所持する資源を超えた機会を追求すること ） とされ、アントレプレナ にとって必要なスキルとしてはOpportunity Recognition （ 事業機会の特定 ） とResource Acquisition （ 資源の調達 ） が重要となる。</p> <p>本授業では、前者の事業機会の特定に重点を置き、アントレプレナーの活動をシミュレーションする。事業アイデアの創造、技術の探索、仮説の検証、ビジネスモデルの構築といった一連のプロセスを、講義とグループワークの組み合わせを通じて体感していく。</p>					
[Course objectives]					
<p>受講生は、講義で具体的な手法について学ぶと同時に、それぞれの主体的な興味・関心に基づくテーマを選び、グループワークを行う。受講生は、グループワークを通じて起業のプロセスを実体験する中で、下記の3点について理解を深めることを目的とする。</p> <p>1) 起業において必要な方法論、特に事業機会を特定する手法について学ぶ 2) 起業におけるコミュニケーション、チームワーク、リーダーシップの重要性について理解を深める 3) 研究成果と社会との連結について理解を深める</p>					
[Course schedule and contents]					
<p>グループワークで起業プロセスのシミュレーションを行う。以下のトピックについて、それぞれ2～3回の授業を実施する。</p> <p>1．イントロダクション、未来年表・ターニングポイント分析： 「未来のエネルギー」、「次世代農業」などのテーマを決め、将来の制度や生活者のニーズの変化を予測する。（第一回、第二回）</p>					
----- Continue to アントレプレナーシップ演習(2) -----					

アントレプレナーシップ演習(2)

2. アイディエーション:

マイクロトレンド（ミクロな変化の兆しへの着目）、メタファー（動植物をヒントにするバイオミクリーなど）などの手法を用いて、ビジネスアイデア創出を行う。（第三回、第四回）

3. 技術探索:

利活用できそうな技術シーズを京都大学内等で探索する。可能であれば研究室へのインタビューを行う。（第四回）

4. プロトタイピング:

デジタルファブリケーションツールを用いた製品のラピッドプロトタイピングやビデオプロトタイピング（簡単なビデオによるアイデアの提供価値の明確化）を行う。（第五回）

5. ビジネスモデル:

顧客ニーズ、提供価値、収入・コストを含むアイデア全体について仮説を立て、外部インタビュー等で検証・修正を行う。（第六回、第七回）

6. プレゼンテーション:

最終プレゼンテーションを行う。ベンチャーキャピタル等による真剣な投資検討の対象になりうるレベルを目指す。（第八回）

第一回	10月12日	（土）13～16時	304号室
第二回	10月26日	（土）13～16時	304号室
第三回	11月9日	（土）13～16時	304号室
第四回	11月17日	（日）9～17時	4階コミュニケーションスペース
第五回	11月30日	（土）13～17時	4階コミュニケーションスペース
第六回	12月3日	（土）13～17時	4階コミュニケーションスペース
第七回	12月14日	（土）13～17時	4階コミュニケーションスペース
第八回	1月11日	（土）13～15時	4階コミュニケーションスペース

第四回～第八回は「技術イノベーション事業化コース」と共同実施

[Course requirements]

None

[Evaluation methods and policy]

授業中に課す個人レポート 20 %
グループワークの最終発表 50 %
グループワークにおけるチームワーク、コミュニケーション 20 %
授業への貢献（出席・質問等の発言）10 %

[Textbooks]

Not fixed

[References, etc.]

（References, etc.）

Introduced during class

Continue to アントレプレナーシップ演習(3)

アントレプレナーシップ演習(3)

[Study outside of class (preparation and review)]

グループワークでは、授業時間外でのメンバー間での打ち合わせも必要となる。ウェブ上の共有ツール等を用いて、効率的に協業すること。

[Other information (office hours, etc.)]

起業についての予備知識を得たい人、さらに知識を深めたい人は、以下を聴講することができる（いずれも無単位、事前登録要）

起業と事業創造 （基礎講義）

ベンチャー経営論 （基礎講義）

キャリアセミナー（起業家による講演）

技術イノベーション事業化コース （演習）

<http://www.ep.saci.kyoto-u.ac.jp/index.html>

<http://ims.saci.kyoto-u.ac.jp/>